

N

F

C

## NFC CALENDAR

大ホール(2階)

G シネマの冒険 闇と音楽  
D・W・グリフィス選集

Silent Film Renaissance — Featuring D. W. Griffith

1月7日(火)〜1月19日(日)

料金=一般1,000円/高校・大学生・シニア800円/小・中学生600円

\*シニア料金は65歳以上の方に適用されます。

展示室(7階)

展示会 映画遺産

—東京国立近代美術館フィルムセンター・コレクションより—

The Japanese Film Heritage

— From the Non-film Collection of the National Film Center —

料金(個人)=一般200円/高校・大学生・シニア100円/小・中学生無料

料金(団体)=一般100円/高校・大学生・シニア50円/小・中学生無料

\*団体料金は20名以上の団体に適用されます。

\*大ホールで映画をご覧になった方は、当日に限り、個人のご入場であっても、半券のご提示により団体料金が適用されます。

- 上記開催期間中(1月)の休館日:月曜日
- シニア(65歳以上)の方は、必ず年齢を証明できるものをご提示下さい。
- 休映期間中(1月20日〜27日)は展示室も閉室となります。

大ホール

定員=大ホール310名(各回入替制)

発券=2階受付

- 観覧券は当日・当該回にのみ有効です。
- 発券・開場は開映の45分前から行ない、定員に達し次第締切となります。
- 開映後の入場はできません。

展示室

開室=休館日以外の火曜日〜日曜日

(午前10時30分〜午後6時/入場は5時30分まで)

図書室(4階)

開室=休館日以外の火曜日〜金曜日

(午前10時30分〜午後6時/入室は5時30分まで)

東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center  
The National Museum of Modern Art, Tokyo

D.W. GRIFFITH

2003

1

NFCカレンダー  
2003年1月号

# 大ホール 上映作品

シネマの冒険 闇と音楽  
D・W・グリフィス選集  
Silent Film Renaissance — Featuring D. W. Griffith

無声映画の秀作に音楽伴奏などを付して上映するフィルムセンターの恒例企画「シネマの冒険 闇と音楽」。今年度は、映画技法の基礎を築き上げたパイオニア、D・W・グリフィス監督を取り上げ、長短合わせて30の作品を12プログラムに構成して上映します。『国民の創生』(1915年)や『イントランクス』(1916年)、『散り行く花』(1919年)といった大作を通じて世界的な名声を確立したグリフィスですが、今回の企画は比較的上映される機会の少ない作品を選ぶことで、その豊かな才能の隠れた一面にも迫ります。とりわけその経歴の初期に当たるパイオグラフ社時代(1908~1913年)の短篇・中篇作品に接することは、映画劇が“進化”する過程をまるごと発見するようなスリリングな体験となるでしょう。

今回は、無声映画とのコラボレーションに初めて臨む方を含む、国内の8名のミュージシャンがピアノ伴奏を行うこととなりました。「天才と呼ばれるに値する創造性を持ったアメリカで唯一の監督」(K・ブラウンロウ)とも呼ばれたグリフィスの芸術の魅力が、意欲的な演奏を通じて最大限に引き出されることが期待できます。監督第1作『ドリーの冒険』のファースト・ショットに触れた瞬間からスタートする、映画の始原の輝きを存分にご堪能ください。

## G-1 1/7(火)3:00pm 1/18(土)1:00pm

### 短篇集[1] (計61分)

少なくとも23本のパイオグラフ作品に出演し、7本の脚本を手がけた後、グリフィスは誘拐される少女の物語『ドリーの冒険』(1908年6月撮影)で監督業に進出。以後、1年半にわたり同社の監督はグリフィスただ一人になったとされる。中でも小麦相場師の横暴と民衆の困窮を扱う社会派劇『小麦の買占め』(1909年11月撮影)は最初期の傑作として評価が高いが、実に190本目の監督作である。フランスを舞台とする時代劇『毒蛇の飼育』、原住民と白人との確執を描く西部劇『インディアン』の考えと、すでに多様なジャンルが出現する。

#### ドリーの冒険

*The Adventures of Dollie* (12分・35mm・白黒) [LoC]  
'08 ⑨アーサー・マーヴィン⑩アーサー・ジョンソン、リンダ・アウエイソン、チャールズ・インズリー、マデリン・ウェスト

#### 毒蛇の飼育

*Nursing a Viper* (16分・35mm・白黒) [MoMA]  
'09 ⑧G・W・ピッツァー⑩アーサー・ジョンソン、マリオン・レナード、フランク・パウエル

#### インディアンの考え

*The Redman's View* (17分・35mm・白黒) [MoMA]  
'09 ⑧G・W・ピッツァー⑩オーウェン・ムーア、ジェームズ・カークウッド、W・クリスティ・ミラー、ドロシー・ウェスト

#### 小麦の買占め

*A Corner in Wheat* (16分・35mm・白黒) [MoMA]  
'09 ⑧フランク・ハリス⑧G・W・ピッツァー⑩フランク・パウエル、グレイス・ヘンダーソン、ジェームズ・カークウッド

## G-2 1/7(火)7:00pm 1/16(木)7:00pm

### 短篇集[2] (計66分)

『異にかかったサンタクロース』は前年の『クリスマスの泥棒 The Christmas Burglars』に続く「クリスマス映画」で、別れていた家族が再会するハッピー・エンド。航海に出た水夫を待つ妻を描く『不変の海』もまた、前年の『時は流れてAfter Many Years』に連なり、以後も複数の『イーノック・アーデン Enoch Arden』(1911年)などで変奏されることになる。飲酒による家族離散を教訓的に描く『ロッキー・ロード』、家族を失った少女が新たな家族を見出す『ゲッターの娘』など、驚異的な量産の中でグリフィスが自ら語るべき物語の軸を見出していった過程を窺うことができる。

#### 異にかかったサンタクロース

*A Trap for Santa Claus* (18分・35mm・染色) [MoMA]  
'09 ⑧G・W・ピッツァー⑩ヘンリー・B・ウォルソール、マリオン・レナード、グラディス・イーガン、マック・セネット

#### ロッキー・ロード

*The Rocky Road* (15分・35mm・白黒) [MoMA]  
'09 ⑨アーサー・マーヴィン、G・W・ピッツァー⑩フランク・パウエル、ステファニー・ロングフェロー、ジョージ・O・ニコルズ

#### 不変の海

*The Unchanging Sea* (16分・35mm・白黒) [MoMA]  
'10 ⑧チャールズ・キングズリー ⑧G・W・ピッツァー⑩リンダ・アーヴィドソン、アーサー・ジョンソン、グラディス・イーガン、メアリー・ピックフォード、チャールズ・H・ウェスト

#### ゲッターの娘

*A Child of the Ghetto* (17分・35mm・白黒) [LoC]  
'10 ⑩スタナー・E・V・テイラー⑩アーサー・マーヴィン、G・W・ピッツァー⑩ドロシー・ウェスト、ケイト・ブルース、デル・ヘンダーソン、チャールズ・H・ウェスト、W・クリスティ・ミラー

## G-3 1/8(水)3:00pm 1/18(土)4:00pm

### 短篇集[3] (計66分)

『国民の創生』(1915年)で頂点を極めることになるグリフィスの一連の南北戦争ものの中でも、『境界州にて』と『鎧戸の締まった家』は、密書を届ける危険な任務に就く兵士とその勇敢な妹をそれぞれ北軍、南軍の側から描いて興味深い。『毒蛇の飼育』に続いてフランス革命に材を採った『誓いと人間』は、後の『嵐の孤児』(1921年)で大きな開花を見ることになる。『老人たちを…』は職を失い、盗みを働いて捕らえられ、妻を失う老人の救いえない末路を描いているが、この時期のパイオグラフにおいて悲劇的結末は必ずしも珍しくなかった。

#### 境界州にて

*In the Border States* (17分・35mm・白黒) [MoMA]  
'10 ⑩スタナー・E・V・テイラー⑧G・W・ピッツァー⑩チャールズ・H・ウェスト、グラディス・イーガン、W・クリスティ・ミラー、ドロシー・ウェスト、ヘンリー・B・ウォルソール、マック・セネット

#### 鎧戸の締まった家

*The House with Closed Shutters* (16分・35mm・白黒) [MoMA]  
'10 ⑩エメット・キャンベル・ホール⑧G・W・ピッツァー⑩ヘンリー・B・ウォルソール、ドロシー・ウェスト、グレイス・ヘンダーソン、チャールズ・H・ウェスト

#### 誓いと人間

*The Oath and the Man* (17分・35mm・白黒) [MoMA]  
'10 ⑩スタナー・E・V・テイラー⑧G・W・ピッツァー⑩ヘンリー・B・ウォルソール、フロレンス・パーカー、W・クリスティ・ミラー

#### 老人たちをどうすべきか

*What Shall We Do with Our Old* (16分・35mm・白黒) [MoMA]  
'11 ⑧G・W・ピッツァー⑩W・クリスティ・ミラー、クレア・マクダウエル、フランシス・J・グラランド

## G-4 1/8(水)7:00pm 1/14(火)3:00pm

### 短篇集[4] (計66分)

泥棒に襲われた一家を救いに駆けつける『女は嘲笑した』はいわゆる「最後の瞬間の救出」の典型だが、悪役である泥棒を一途に愛する健気な娘を中心に描いている点で注目される。いがみ合いながら砂漠をさ迷う三人の女を描いた『女性』は、緩慢なリズム(同年の1作品平均ショット数82に対し62)の編集が砂漠の灼熱と渇きをいかに描き出し、秀抜な効果をあげている。薬物の脅威を訴える『息子のために』、落ちぶれた役者の悲哀を描く『老男優』は、栄光の座から滑り落ち酒に溺れたグリフィス自身の晩年を暗示するかのようでもある。

#### 女は嘲笑した

*A Woman Scorned* (17分・35mm・白黒) [MoMA]  
'11 ⑩ジョージ・ヘネシー⑧G・W・ピッツァー⑩ウィルフレッド・ルーカス、クレア・マクダウエル、アドルフ・レスティナ

#### 息子のために

*For His Son* (16分・35mm・白黒) [MoMA]  
'11 ⑩エメット・キャンベル・ホール⑧G・W・ピッツァー⑩チャールズ・ヒル・メイルズ、チャールズ・H・ウェスト

#### 女性

*The Female of the Species* (16分・35mm・白黒) [MoMA]  
'12 ⑧G・W・ピッツァー⑩チャールズ・H・ウェスト、クレア・マクダウエル、メアリー・ピックフォード、ドロシー・バーナード

#### 老男優

*The Old Actor* (17分・35mm・白黒) [LoC]  
'12 ⑩ジョージ・ヘネシー⑧G・W・ピッツァー⑩W・クリスティ・ミラー、ケイト・ブルース、メアリー・ピックフォード

## G-5 1/9(木)3:00pm 1/19(日)1:00pm

### 短篇集[5] (計69分)

カリフォルニアにロケした2巻物の大作『大虐殺』は、群衆場面などに壮大なロングショットを効果的に用いた堂々たる西部劇。当時は長尺に対する警戒心がいまだ根強く、公開はグリフィスがパイオグラフを去った後の1914年まで持ち越された。100を超える短いショットを緻密に構成し、多彩なアクションを凝縮した『狭き道』、地味な娘が男の裏切りと死を知って精神を病むに至るまでの、心理の推移を繊細に描く悲劇『厚化粧したレディ』と、題材も手法もそれぞれ大きく異なるものの、「最初のゴールデン・イヤー」と評価される1912年のグリフィスの実力を余すところなく伝える3本である。

#### 大虐殺

*The Massacre* (35分・35mm・白黒) [MoMA]  
'12 ⑩D・W・グリフィス⑧G・W・ピッツァー⑩ウィルフレッド・ルーカス、ブランチ・スウィート、チャールズ・H・ウェスト、アルフレッド・バジェット、ハリー・ハイド

#### 狭き道

*The Narrow Road* (17分・35mm・白黒) [LoC]  
'12 ⑩ジョージ・ヘネシー⑧G・W・ピッツァー⑩エルマー・ブース、メアリー・ピックフォード、チャールズ・ヒル・メイルズ、アルフレッド・バジェット

#### 厚化粧したレディ

*The Painted Lady* (17分・35mm・白黒) [MoMA]  
'12 ⑩D・W・グリフィス⑧G・W・ピッツァー⑩ブランチ・スウィート、ジョゼフ・グレイビル、チャールズ・ヒル・メイルズ、ケイト・ブルース、マッジ・カービー

## G-6 1/9(木)7:00pm 1/17(金)3:00pm

### 短篇集[6] (計66分)

ニューヨークの街頭で撮影された『ビッグ横丁のならず者』はギャング映画の起源のひとつとして名高く、同年の『見えざる敵 An Unseen Enemy』でグリフィス一家に加わったリリアン・ギッシュの単独主演作。『男性』は、山に出かけた浮気男が田舎娘とカヌーで逃げ出し、娘の兄たちに追いかける大騒動の末、改心して妻の待つ家庭に戻るという活劇調の道德譚。米国ではフィルムが失われたと考えられており、唯一の可燃性プリントは日本で発見された。1960年代前半にフィルムセンターの前身であるフィルムライブラリーが不燃化したもので、現在はパイオグラフ作品がいかに全世界的に配給されていたかを示す端的な例として注目されている。

#### ビッグ横丁のならず者

*The Musketeers of Pig Alley* (17分・35mm・白黒) [MoMA]  
'12 ⑩ジョゼフ・グレイビル⑧G・W・ピッツァー⑩エルマー・ブース、リリアン・ギッシュ、ウォルター・ミラー

#### 男性

*Gold and Glitter* (15分・35mm・白黒)  
'12 ⑩ジョージ・ヘネシー⑧G・W・ピッツァー⑩エルマー・ブース、グレイス・ルイス、ライオネル・バリモア、リリアン・ギッシュ、ドロシー・ギッシュ

#### 電話交換嬢と御婦人

*The Telephone Girl and the Lady* (17分・35mm・白黒) [MoMA]  
'12 ⑩エドワード・アッカー⑧G・W・ピッツァー⑩メイ・マーシュ、アルフレッド・バジェット、クレア・マクダウエル、ウォルター・P・ルイス、ハリー・ケリー

#### たかが黄金

*Just Gold* (17分・35mm・白黒) [MoMA]  
'13 ⑩ジョージ・ヘネシー⑧G・W・ピッツァー⑩リリアン・ギッシュ、ライオネル・バリモア、ケイト・ブルース

- ⑧=原作・原案 ⑨=脚本・脚色 ⑩=撮影 ⑪=美術 ⑫=出演
- 全作品、挿入字幕(インタタイトル)は英語で、日本語字幕がつきます。
- 本特集には不完全なプリントが含まれています。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。
- 本特集については、年号および上映順は撮影終了日を基準とします。
- 原題は文献資料に準拠し、上映するフィルム上の表記とは必ずしも一致していません。
- [MoMA] はニューヨーク近代美術館、[LoC] は米国議会図書館による復元版を示します。

G-7 1/10(金)3:00pm 1/19(日)4:00pm

短篇集 [7] (計61分)

「最後の瞬間の救出」の優れた例を見せる『エルダーブッシュ峡谷の戦い』は、れっきとした西部劇でありながら、孤児というグリフィス映画を語る上で欠かせないテーマを担っている点でも重要である。また『先史時代』(プリント上の題名In Prehistoric Daysに基づく題)は、同じ男(R・ハロン)と女(M・マーシュ)が現代と原始時代を行き来するコメディで、ハワード・ホークスの『無花果の葉』(1926年)との比較も有意義だろう。

エルダーブッシュ峡谷の戦い

The Battle at Elderbush Gulch (29分・35mm・白黒)

[MoMA]

'13 ⑩D・W・グリフィス ⑩G・W・ピッツァー ⑩メイ・マーシュ、ロバート・ハロン、リアン・ギッシュ、アルフレッド・バジエット

先史時代

Brute Force (32分・35mm・白黒) [MoMA]

'13 ⑩⑩ロバート・ハロン、メイ・マーシュ、ウィルフレド・ルカス、チャールズ・ヒル・メイルズ、ウィリアム・J・ノトラー

G-8 1/10(金)7:00pm 1/16(木)3:00pm

アッシリアの遠征

Judith of Bethulia (60分・16mm・染色)

聖書外典に基づく史劇で、これまで日本ではしばしば「ベツリアの女王」という題名で紹介されてきた。1913年7月に撮影されたが、それまで1巻物を主としていたグリフィスにとって、この4巻という長さは破格であった。この作品を最後として、グリフィスは450本以上の監督を残したパイオグラフ社を去ることとなる。今回上映されるのは16mmの速度調整版プリントであるが、染色の箇所は当時のオリジナル・プリントと同じである。

'13 ⑩トマス・ベイリー・オルブリッジ ⑩フランク・E・ウッズ ⑩G・W・ピッツァー ⑩ブランチ・スウィート、ヘンリー・B・ウォルソール、メイ・マーシュ、ロバート・ハロン、リアン・ギッシュ

G-9 1/11(土)0:00pm 1/14(火)7:00pm

大疑問

The Greatest Question (81分・35mm・白黒) [MoMA]

幼時に殺人事件を目撃した無垢な少女ネリー(L・ギッシュ)は、成長してある家族に引き取られるが、いつしかかつての殺人犯夫婦の家を訪れ、何も知らぬままそこでメイドとして働くことになる。グリフィスがしばしば描いた題材の一つに貧しい白人たちの生活があるが、そうした世情を背景に、まばゆいばかりの田園風景の中で緊張した物語が展開する本作は、グリフィスの隠れた傑作の一つに挙げられよう。

'19 ⑩ウィリアム・ヘイル ⑩スター・E・V・テイラー ⑩G・W・ピッツァー ⑩リアン・ギッシュ、ロバート・ハロン、ラルフ・グレイヴズ、ユージェニー・ペッセラー、ジョージ・フォーセット、トム・ウィルソン、ジョージ・ニコルズ、ジョセフ・クロウエル

G-10 1/11(土)4:00pm 1/15(水)7:00pm

アメリカ

America (130分・35mm・白黒) [MoMA]

アメリカ独立戦争に題材を求めたスペクタクル歴史劇で、登場人物が次々と現れては去る一大絵巻の観がある。グリフィスは、マサチューセッツの民兵ネイサン(N・ハミルトン)とヴァージニアの富豪の娘ナンシー(C・デンプスター)の恋物語をはさみつつ、歴史学者兼作家であるチェンバースの原作をもとに細部に至るまで史実に反しないように配慮している。南北戦争を扱った『国民の創生』(1915年)、第1次大戦を扱った『世界の心』(1918年)とともに、言わば「戦争3部作」をなしている。

\*途中で10分間の休憩時間を設けます。

'24 ⑩ロバート・W・チェンバース ⑩ジョン・L・E・ベル ⑩G・W・ピッツァー、ヘンドリック・サート ⑩他 ⑩チャールズ・M・カーク ⑩ニール・ハミルトン、キャロル・デンプスター、アーヴィル・オルダーソン、ライオネル・バリモア、チャールズ・エメット・マック、アーサー・デュエイ、リー・ベッグス、ジョン・ダンソン

G-11 1/12(日)0:00pm 1/15(水)3:00pm

素晴らしい哉人生

Isn't Life Wonderful (108分・35mm・白黒) [MoMA]

第1次大戦後にポーランドからベルリンの郊外にやってきた教師一家が、インフレ、失業、食糧難といった苦境の中で懸命に生きようとする様を描いた映画で、実際にドイツで撮影されたことでも注目される後期グリフィスの代表作。収めた馬鈴薯を盗まれた男ポール(N・ハミルトン)を女インガ(C・デンプスター)が力強く励ますラスト・シーンは、黒澤明の『素晴らしき日曜日』(1947年)にも影響を与えたとされる。

'24 ⑩ジェフリー・モス ⑩D・W・グリフィス ⑩ヘンドリック・サートフ、ハル・シンツェニッチ ⑩キャロル・デンプスター、ニール・ハミルトン、アーヴィル・オルダーソン、フランク・ブーリア、ルビノ・レーン、ハンス・フォン・シュレター

G-12 1/12(日)4:00pm 1/17(金)7:00pm

曲馬団のサリー

Sally of the Sawdust (117分・35mm・白黒) [MoMA]

1923年にブロードウェイで上演されたミュージカル・コメディ「ポビー」の映画化。サーカスの道に進んで厳格な父から勘当された娘は、やがてサリーという子を産んで息を引き取る。成長したサリー(C・デンプスター)はサーカスの団長とともに母の郷里を訪れるが、孫と祖父母は互いをそうとは知らない…。サリーの育ちの親となる団長を好演したW・C・フィールドは、「ポビー」の時から同じ役柄で人気を得ていたが、この作品から喜劇映画スターへの道のりを歩み始めた。

'25 ⑩ドロシー・ドネリー ⑩フォレスト・ハルジー ⑩ハリー・フィッシュベック、ハル・シンツェニッチ ⑩C・M・カーク ⑩キャロル・デンプスター、W・C・フィールド、アルフレッド・ラント、エフィー・ジャン、アーヴィル・オルダーソン、グレン・アンダーズ、チャールズ・ハモンド、ロイ・アップルゲイト

ピアノ伴奏者紹介(五十音順)

小川由希子(おがわ ゆきこ)

東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業後、同大学研究生2年修了。1994年ピティナ・ピアノコンペティション特級、銀賞受賞、あわせて審査員特別賞などを受賞。1995年日演連推薦新人演奏会に出演。1997年第7回日本モーツァルト音楽コンクール第2位受賞(1位なし)。1998年から2000年までクフモ音楽祭ミュージックキャンプに参加。2000年、東京文化会館新進演奏家デビューリサイタルに出演。これまで日本フィルハーモニー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団などと共演。現在、ベートーヴェン室内楽全曲演奏会を手掛けるほか、室内楽を中心に活動している。



作曲 石川洋光(いしかわ ひろみつ)

1995年東京音楽大学作曲専攻映画・放送音楽コース卒業。在学中にオーケストラ編曲を手がけたのを皮切りに作編曲活動を開始。その後渡米し、南カリフォルニア大学映画音楽作曲コースでハリウッド映画の作曲法を学ぶ。2000年同コース修了。作曲を梶場富美子、三枝成彰、エルマー・バースタイン、デヴィッド・ラクシン、クリストファー・ヤングに師事。主要作品に「廻る夏、巡る日々」「Impressions〜クラリネット5本のための」。劇団ポシビリティのミュージカルで作・編曲を担当したほか、「A Right to Die」(アレクサンダー・ヘルム監督)を始めとする映画音楽を発表。現在、東京音楽大学助手。



作曲 長谷川久美子(プロフィール後掲)

小原孝(おばら たかし)

1986年国立音楽大学院を修了。クワイター記念賞を受賞し、初のリサイタルを開く。ピアノ及び伴奏法を菅野洋子、古代公子、ヨン・ブリック、畑中更子、小林道夫、塚田佳男、ルドルフ・ヤンセンの各氏に師事。「ねこふんじやったSPECIAL」「ピアノよ歌へ」第1〜8集、「イヴェットののためのソナティネ」など1990年CDデビュー以来20枚以上のCDを発表。2002年、第13回演奏堂日本歌曲コンクール優秀共演者賞受



賞。エッセイ集「ねこふんじやったの国から」を発売。現在、国立音楽大学非常勤講師。パーソナリティを担当するNHK-FM「弾き語りフォーユー」がABU賞ラジオ部門でエンターテインメント番組賞を受賞。

木下偷厘子(きのした ゆりこ)

東京音楽大学ピアノ演奏家コースを経て、1999年同大学院研究生2年修了。第2回彩の国・埼玉ピアノコンクールE部門、銀賞受賞。第4回同コンクールF部門銅賞受賞。第21回ピティナ・ピアノコンペティション特級(ピアノデュオ)、優秀賞受賞。日本フィルハーモニー交響楽団と「動物の謝肉祭」(サン・サーンス)を共演。これまでに宮川結佳、川島みどり、播本三恵子、倉沢仁子の各氏に師事。現在、ピアノ・ソロやデュオ、室内楽で活動しまた後進の指導にもあたっている。



作曲 石川洋光(プロフィール前掲)

小林弘人(こばやし ひろと)

東京芸術大学音楽学部作曲科を経て、2000年同大学院を修了。作曲を佐藤真、林光の両氏に師事。管弦楽、舞台音楽などの委嘱作曲・編曲を手がける。1998年東京国際室内楽作曲コンクール第3位入賞、同年フランスINAG-GRMスタジオでの作品制作など、電子音楽の研究を開始。また自作をはじめソロ、室内楽からジャズ、オペラまで幅広いジャンルの演奏活動を続けている。現在、東京芸術大学音楽環境創造科非常勤講師。



高野秀峰(たかの ひでみね)

明治学院大学と武蔵野音楽大学を卒業。自作品に管弦楽、室内楽、バレエ音楽などがある。無声映画の音楽はアテネ・フランセ文化センターにおける『パッション』のほか、『ジークフリート』『メトロポリス』『裁かるるジャンヌ』など。チェコ国立モラヴィア・フィリハーモニーを指揮して欧州にデビュー、また昨年の「トロヴァトーレ」公演は「音



楽現代」誌上で高く評価された。現在、新国立劇場で副指揮を務めている。

土田英介(つちだ えいすけ)

東京芸術大学音楽学部作曲科、同大学院を修了。大学内で長谷川寛を受賞。作曲を松村禎三、黛敏郎、川井孝、木村雅信に、ピアノを徳川愛子、立野了子、ソルフェージュをH・ビューグ・ロジェに師事する。第53回日本音楽コンクール作曲部門第1位入賞。第14回音現代作曲音楽祭にて委嘱曲「交響的諷刺」が初演される。現在、東京音楽大学助教授。東京芸術大学、桐朋学園大学などで非常勤講師を務め、また作曲活動の傍らピアニストとしても活躍している。



長谷川久美子(はせがわ くみこ)

1994年東京音楽大学作曲専攻映画・放送音楽コース卒業。在学中、ピアノの連弾によるユニット「Hands two Hands」を鈴木大と結成、ピアノとヴォーカルを担当している。2001年には同名のファースト・アルバム、2002年にはセカンド・アルバム「サクラ」を発表した。目黒ブルースアレーを拠点に各地でライブ活動を盛んに行う傍ら、ミュージカルのピアニストや劇中音楽の作曲、2003年5月公開予定の映画「ここに幸あり」(けんもち聡監督)の音楽も担当している。現在、東京音楽大学研究員。



長谷川慶岳(はせがわ けいたか)

東京芸術大学音楽学部作曲科を経て、同大学院修士課程作曲専攻を修了。その後フランスに留学、パリのエコール・ノルマル音楽院作曲専攻最高課程を首席で卒業。第69回日本音楽コンクール(管弦楽)部門で入選、第10回演奏堂日本歌曲コンクール作曲部門で第2位、またピアノデュオ作品による第5回国際作曲コンクールにて特別賞・毎日新聞社賞を受賞している。



月	火	水	木	金	土	日
1 月	G-1 3:00pm 短篇集[1] Short Film Program 1 (計61分) ピアノ伴奏=高野秀峰	G-3 3:00pm 短篇集[3] Short Film Program 3 (計66分) ピアノ伴奏=小林弘人	G-5 3:00pm 短篇集[5] Short Film Program 5 (計69分) ピアノ伴奏=土田英介	G-7 3:00pm 短篇集[7] Short Film Program 7 (計61分) ピアノ伴奏=長谷川慶岳	G-9 0:00pm 大疑問 The Greatest Question (81分) ピアノ伴奏=長谷川慶岳	G-11 0:00pm 素晴らしい哉人生 Isn't Life Wonderful (108分) ピアノ伴奏=小林弘人
	G-2 7:00pm 短篇集[2] Short Film Program 2 (計66分) ピアノ伴奏=高野秀峰	G-4 7:00pm 短篇集[4] Short Film Program 4 (計66分) ピアノ伴奏=長谷川久美子	G-6 7:00pm 短篇集[6] Short Film Program 6 (計66分) ピアノ伴奏=小川由希子 (作曲=石川洋光, 長谷川久美子)	G-8 7:00pm アッシリアの遠征 Judith of Bethulia (60分) ピアノ伴奏=木下愉厘子 (作曲=石川洋光)	G-10 4:00pm アメリカ America (130分) ピアノ伴奏=土田英介 *途中で10分間の休憩時間を設けます。	G-12 4:00pm 曲馬団のサリー Sally of the Sawdust (117分) ピアノ伴奏=小原孝
	G-4 3:00pm 短篇集[4] Short Film Program 4 (計66分) ピアノ伴奏=長谷川久美子	G-11 3:00pm 素晴らしい哉人生 Isn't Life Wonderful (108分) ピアノ伴奏=小林弘人	G-8 3:00pm アッシリアの遠征 Judith of Bethulia (60分) ピアノ伴奏=木下愉厘子 (作曲=石川洋光)	G-6 3:00pm 短篇集[6] Short Film Program 6 (計66分) ピアノ伴奏=小川由希子 (作曲=石川洋光, 長谷川久美子)	G-1 1:00pm 短篇集[1] Short Film Program 1 (計61分) ピアノ伴奏=高野秀峰	G-5 1:00pm 短篇集[5] Short Film Program 5 (計69分) ピアノ伴奏=土田英介
	G-9 7:00pm 大疑問 The Greatest Question (81分) ピアノ伴奏=長谷川慶岳	G-10 7:00pm アメリカ America (130分) ピアノ伴奏=土田英介 *途中で10分間の休憩時間を設けます。	G-2 7:00pm 短篇集[2] Short Film Program 2 (計66分) ピアノ伴奏=高野秀峰	G-12 7:00pm 曲馬団のサリー Sally of the Sawdust (117分) ピアノ伴奏=小原孝	G-3 4:00pm 短篇集[3] Short Film Program 3 (計66分) ピアノ伴奏=小林弘人	G-7 4:00pm 短篇集[7] Short Film Program 7 (計61分) ピアノ伴奏=長谷川慶岳

■作品により開映時間が異なりますのでご注意ください。

図書室カレンダー

赤字は休室日

1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



営業ご案内

ヴェトナム・アリス京橋

午前11時—午後9時  
(土・日曜, 祝日は午後6時まで)  
ラストオーダーは閉店時間の30分前  
月曜日休み  
TEL. 03-3538-5877



展示室

展覧会 映画遺産—東京国立近代美術館フィルムセンター・コレクションより—

The Japanese Film Heritage  
— From the Non-film Collection of the National Film Center —

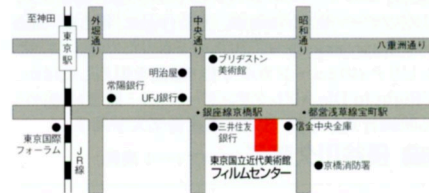
フィルム・ライブラリー(現フィルムセンター)の開設50周年を記念して再オープンする展示室では、これまでに収集してきたコレクションの中から特に珍しい映画人の遺品や初期の映画機械などを一堂に集めて展示する一方、過去に行なわれた映画の発見・復元の成果を紹介しながら、日本の映画保存運動の軌跡を振り返ります。

■休映期間中(1月20日~27日)は展示室も閉室となります。

2階受付では、「NFCニューズレター」(隔月刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルム・アーカイヴやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。



東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイヴズ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:  
当団地下鉄銀座線京橋駅下車。出口1から昭和通り方向へ徒歩1分  
都営地下鉄浅草線宝町駅下車。出口A4から中央通り方向へ徒歩1分  
当団地下鉄有楽町線銀座一丁目駅下車。出口7より徒歩5分  
JR東京駅下車。八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル03-5777-8600  
東京国立近代美術館ホームページ:  
<http://www.momat.go.jp/>